

# 2024年3月期 決算説明会

2024年6月3日

**テイカ株式会社**

東京証券取引所プライム市場 証券コード：4027

本資料における業績予想および将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご了承ください。



# 目次

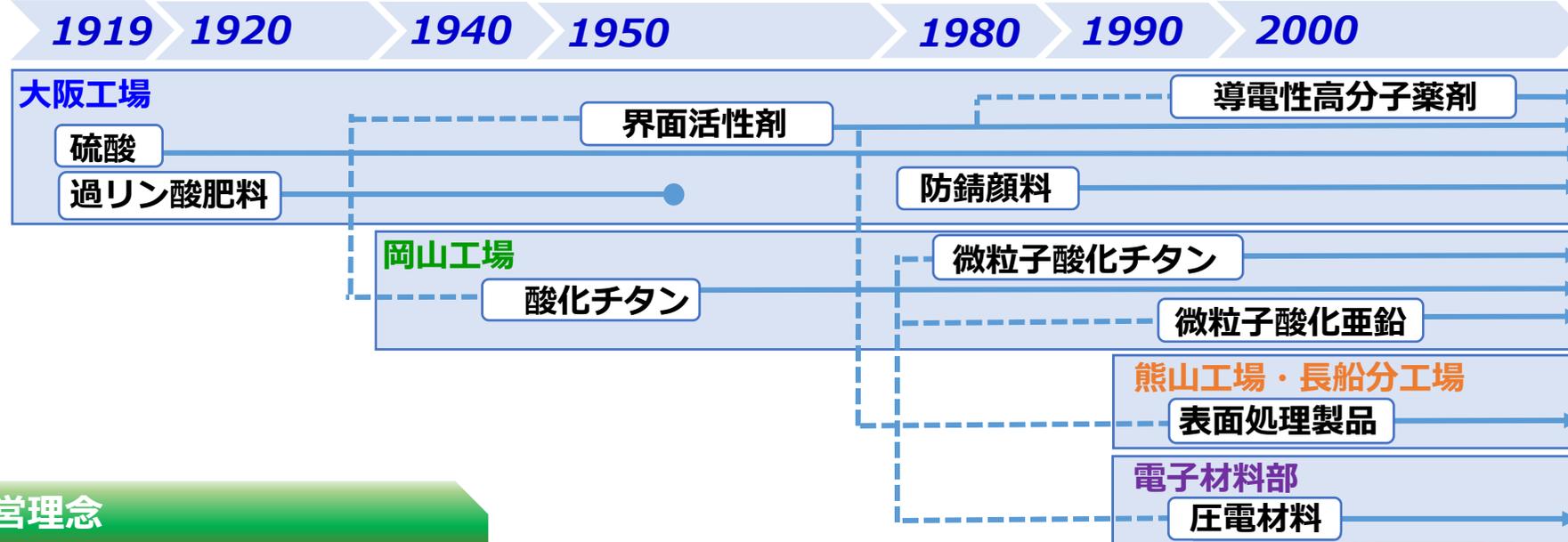
---

1. 経営ビジョン
2. 2024年3月期 決算概要
3. 2025年3月期 通期業績予想
4. 株主還元
5. 付属資料

# 1. 経営ビジョン

- ・長期経営ビジョン MOVING-10 (2020-2029年度)
- ・中期経営計画 MOVING-10 STAGE1 (2020-2023年度) 総括
- ・新中期経営計画 MOVING-10 STAGE2 (2024-2026年度) 概要

# 事業ビジョン



## 経営理念

テイカグループは、化学の力で感動の素を創り、世界に夢と笑顔を届けます。

## コーポレートスローガン

まじめに感動素材

- ① 基盤事業の安定化
- ② 成長事業の強化
- ③ 次世代事業の育成

Challenge100  
(2010-2019年度)

高収益体制の骨太の  
「強いテイカ」に成長

- ① 収益性を重視した活動
- ② 汎用品から機能製品へのポートフォリオシフト
- ③ 持続的社会的価値と高収益を創出

MOVING-10  
(2020-2029年度)

# 長期経営ビジョン MOVING-10 (2020-2029年度)

収益性を重視した活動を行い、汎用品から機能品へポートフォリオシフトを加速することで、更なる業容拡大と収益基盤の強化に努めます。

- ▶ 基本方針 「まじめに感動素材」のもと、お客様と真摯に向き合い、妥協なく試行錯誤を行う中から、より良いソリューションを実現します。

- ▶ **MOVING-10**の  
目指す経営指標

2029年度	目標経営指標
営業利益率	15%以上
ROE	12%以上

- ▶ ESGの3つを最重要課題として積極的に取り組み、事業活動を通してSDGsで提唱されている課題解決に貢献します。
- ▶ 研究開発方針 事業環境変化を捉える技術開発、事業基盤強化を図ります。また、技術要素の進化をスピード感を持って進めます。

# 中期経営計画 MOVING-10 STAGE1 総括 (2020-2023年度)

## MOVING-10 (2020-2029年度)

### STAGE1 重点項目

- ◆ 変革による拡大
- ◆ 新素材の創出

**STAGE 1  
(2020-2023年度)**

STAGE 2  
(2024-2026年度)

STAGE 3  
(2027-2029年度)

### STAGE1 活動のポイント

- ◆ 機能性化学品および電子材料事業の更なる拡大（ポートフォリオシフトの加速）
- ◆ 環境エネルギー分野の育成・上市（次世代を担う2本目の柱）
- ◆ 新たな素材の創出促進（キーワード：「ニッチ市場」×「伸長分野」）
- ◆ 業務効率化の推進（生産性向上、自動化）
- ◆ 人財育成の推進（ダイバーシティ、働き方改革）
- ◆ SDGs経営推進による企業価値向上

# 中期経営計画 MOVING-10 STAGE1 総括

- ◆ 売上高はSTAGE1期間を通じて順調に増加し、ほぼ計画通りの実績を計上
- ◆ 利益項目はコロナ禍による減退や原燃料価格の高騰から、STAGE1計画に及ばず

	テイカ100周年	MOVING-10 STAGE1					STAGE1 目標	
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		2023年度	
					実績	前年度比	計画	STAGE1 目標比
売上高	454	384	464	548	530	-18	550	-20
営業利益	58	29	37	42	23	-19	75	-52
営業利益率	13%	8%	8%	8%	4%	-3%	14%	-10%
ROE	8%	4%	6%	6%	3%	-2%	9%	-6%
EBITDA ※	86	59	71	76	55	-21	110	-55

※EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費

(億円)

# 中期経営計画 MOVING-10 STAGE1 総括

- ◆ 機能性材料事業（酸化チタン・微粒子酸化チタン・微粒子酸化亜鉛・表面処理製品等）
  - ・売上高は、汎用酸化チタンの国内向け需要回復や化粧品原料の販売が堅調に推移したことにより増加
  - ・営業利益は、原燃料価格の高騰によるコスト上昇が主因で減少

- ◆ 電子材料・化成品事業（圧電材料・導電性高分子薬剤・界面活性剤・硫酸等）
  - ・売上高は、圧電材料と界面活性剤の海外向け販売が堅調に推移したことにより増加
  - ・営業利益は、導電性高分子薬剤の販売減が影響し、低調に推移

		MOVING-10 STAGE1					STAGE1 目標	
		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		2023年度	
					実績	前年度比	計画	STAGE1目標比
機能性材料事業	売上高	194	228	271	281	+9	300	-19
	営業利益	9	10	22	6	-17	40	-34
	営業利益率(%)	5%	4%	8%	2%	-6%	13%	-11%
	電子材料・化成品事業	売上高	177	222	263	237	-26	236
	営業利益	18	23	17	15	-2	30	-15
	営業利益率(%)	10%	10%	6%	6%	±0	12%	-6%

(億円)

# 中期経営計画 MOVING-10 STAGE1 総括

## STAGE1重点施策の状況

STAGE1 活動ポイント	総括	STAGE2に向けて
①機能性化学品及び電子材料事業の更なる拡大	機能性微粒子製品製造設備を増設 圧電単結晶材料の量産工場を新設	機能性製品の更なる拡大 圧電材料のマーケットシェアの拡大
②環境エネルギー分野の育成、上市	次世代の柱となる事業育成に至らず	販売・開発強化による事業化推進
③新たな素材の創出促進	素材創出は進行 新規事業創出には至らず	開発リソース投入による新規素材創出の加速
④業務の効率化の推進	DX化推進プロジェクトを実施 フレックス制度などの労働環境を整備	更なる生産性向上の追求
⑤人財育成の推進	経営人材育成プロジェクトを実施 新人事評価制度を導入	人的資本経営推進による企業体質の強靱化
⑥SDGs経営推進による企業価値向上	サステナビリティ報告書作成 TCFD提言への賛同	CO <sub>2</sub> 削減計画の着実な実施 外部機関(CDP・エコバディス等)の評価向上

# 新中期経営計画 MOVING-10 STAGE2 (2024-2026年度)

## MOVING-10 (2020-2029年度)

### 事業戦略

- ◆ 営業利益率の回復
- ◆ 競争優位事業への積極投資と増強
- ◆ 事業の選択と集中
- ◆ 新規事業の実現
- ◆ プロセス改善と生産性向上

### STAGE 2 (2024-2026年度)

### STAGE 3 (2027-2029年度)

### STAGE 1 (2020-2023年度)

### 財務・非財務戦略

- ◆ 資本効率経営と  
テイカブランドの確立
- ◆ 人的資本拡充
- ◆ CO<sub>2</sub>の削減

# 新中期経営計画 MOVING-10 STAGE2

## 事業戦略 具体的な方針

- ◆ ライフサイエンス分野 **拡大**：トップメーカーとしての市場席卷
- ◆ 環境エネルギー分野 **成長と拡大**：導電性高分子薬剤事業の収益化
- ◆ ケミカル分野 **効率化**：コスト削減と運営体制再構築
- ◆ インダストリアル分野 **進化**：シナジー追求とコア事業化
- ◆ 新規事業 **創出**：新規事業の育成と事業化

## 財務・非財務戦略 具体的な方針

- ◆ 株主資本コストを上回るROEの向上  
 全社KPI運営とキャピタルアロケーション導入  
 株主還元充実と株主・投資家との対話活性化
- ◆ 情熱人財創出とエンゲージメント向上
- ◆ CO<sub>2</sub>排出削減計画（ロードマップ）の遂行

	STAGE 1		STAGE 2	
	2023年度		2026年度	
	計画	2023年度比		
売上高	530億円	+150億円	680億円	
営業利益	23億円	+37億円	60億円	
営業利益率	4%	+5%	9%	
ROE	3%	+4%	7%	
EBITDA	55億円	+50億円	105億円	

# 機能性材料事業：機能性微粒子製品の拡大

## 機能性微粒子製品

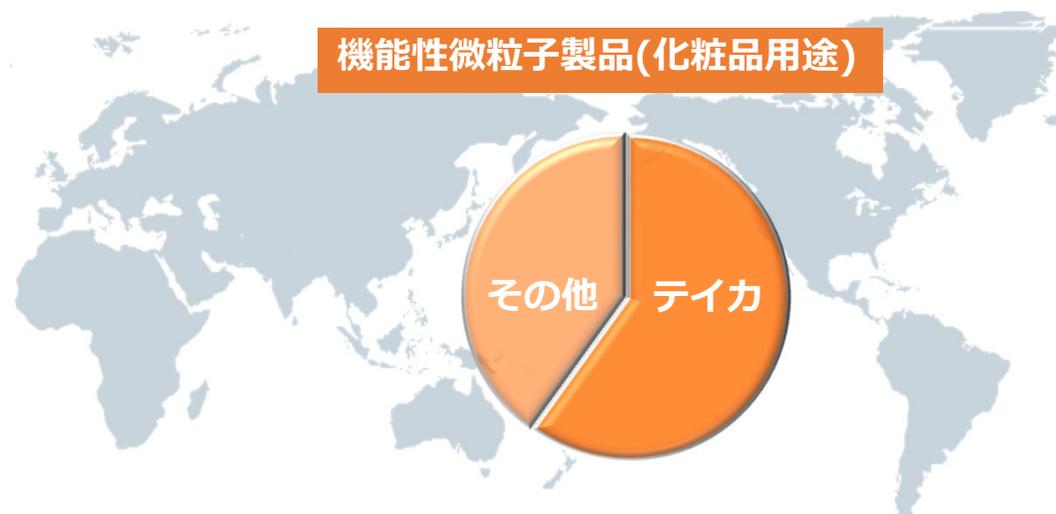
機能性微粒子製品には、微粒子酸化チタン、微粒子酸化亜鉛および表面処理製品があり、日焼けの原因となる紫外線を遮蔽する材料として、日焼け止め化粧品やファンデーションなどに使われています。

**微粒子酸化チタン製品は、2014年に経済産業省の「グローバルニッチトップ企業100選」に選定されました。**

## 微粒子製品の世界市場シェア※

※日焼け止め化粧品用途の世界市場シェア、当社調べ

## 機能性微粒子製品(化粧品用途)



### 基本戦略

#### トップメーカーとしての市場席卷

- ◆ グローバルトップとして、市場拡大に応じた更なるシェアの拡大
- ◆ 市場ニーズに応じた継続的な新製品開発と投入

### 主要施策

#### 経営資源の集中と投資増強

- ◆ 機能性微粒子製品の工場建設による生産能力拡充
- ◆ 研究開発/営業人員増強による販売拡大

# 機能性材料事業：コスト削減と運営体制再構築

## 汎用用途酸化チタン

### 基本戦略

#### コスト削減と運営体制再構築

- ◆ 大胆なコスト削減策の検討と実行
- ◆ 市場環境に応じた販売推進と在庫管理の徹底
- ◆ 2030年CO<sub>2</sub>半減に向けたロードマップ完遂

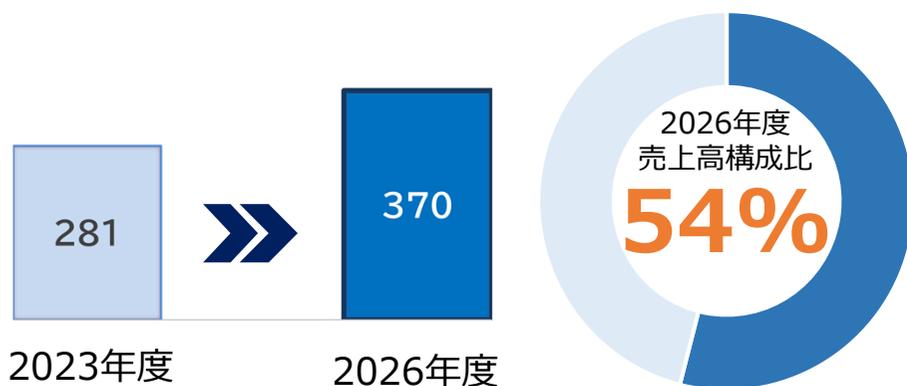
### 主要施策

#### 効率化と環境対応

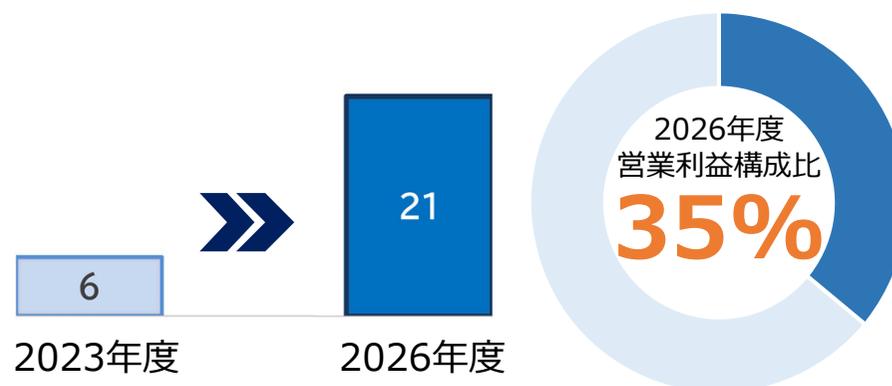
- ◆ 生産の効率化によるコスト削減
- ◆ 燃料転換と熱回収によるCO<sub>2</sub>削減

## 機能性材料事業における目標経営指標

### 売上高（億円）



### 営業利益（億円）



# 電子材料・化成品事業：圧電材料の拡大

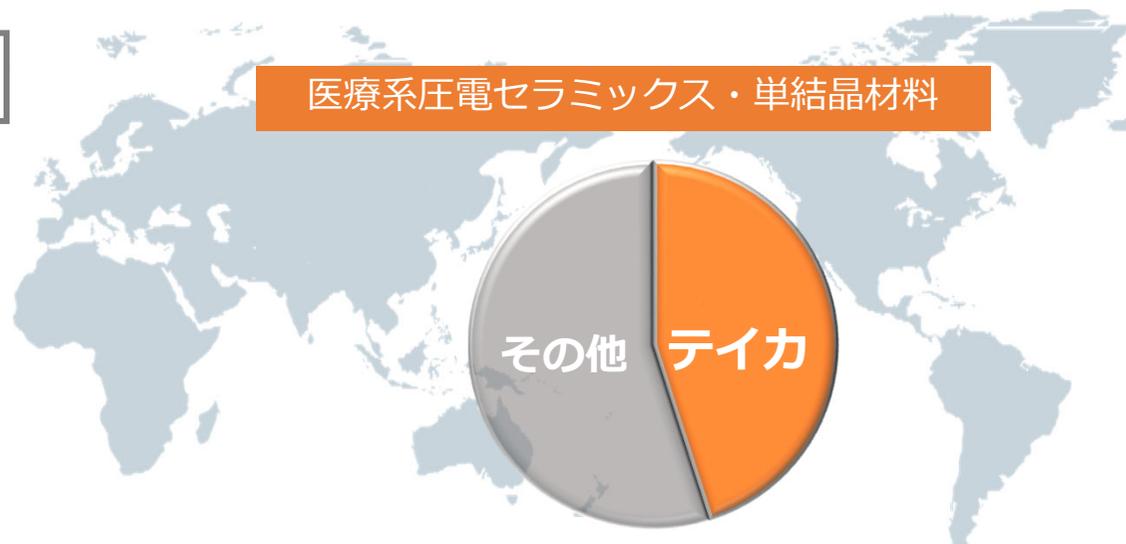
## 圧電材料

電圧を加えることで伸縮を繰り返し、その振動を利用して超音波を発生させることができる材料です。エコー検査に使われる医療用超音波診断機は、この機能が利用されています。

**圧電セラミックス材料は、2020年に経済産業省の「グローバルニッチトップ企業100選」に選定されました。**

## 圧電材料の世界市場シェア※

※医療系圧電材料の世界市場シェア、当社調べ



### 基本戦略

#### トップメーカーとしての市場席巻

- ◆ 日米一体運営による開発/製造/販売体制の強化
- ◆ 更なる差別化による圧倒的シェア獲得

### 主要施策

#### 経営資源の集中と投資増強

- ◆ リソース増強による単結晶・セラミックス商品の生産能力増強と販売拡大

# 電子材料・化成品事業：導電性高分子薬剤の拡大

## 導電性高分子薬剤

電気を通すことのできる高分子材料で、コンデンサ、帯電防止、タッチパネル分野などの用途で使用されている。今後、自動車のEV化や自動運転、生成AI(人工知能)の普及拡大による需要の増加が期待できる。

自動運転



AI (人工知能)



家電・PC



ウェアラブル端末



次世代通信

### 基本戦略

#### 事業の成長と拡大

- ◆ 製・販・研一体運営とお客さまニーズに応じた当社対応力強化
- ◆ 市場シェアの拡大

### 主要施策

#### 経営資源の集中と投資増強

- ◆ 導電性高分子薬剤の生産能力増強に向けた設備投資
- ◆ 研究開発・営業人員の増強

# 電子材料・化成品事業：コスト削減と運営体制再構築

## 界面活性剤

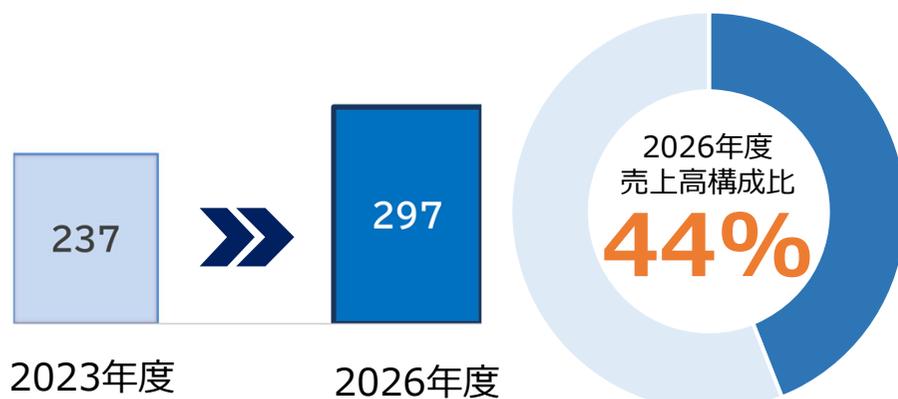
### 基本戦略

#### コスト削減と運営体制再構築

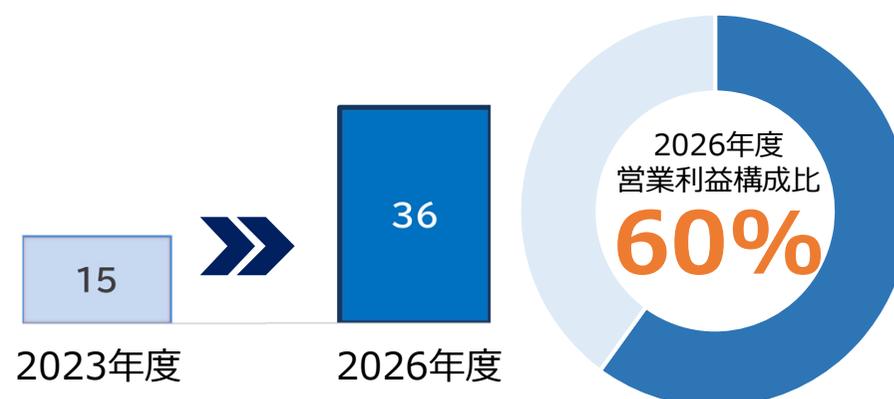
- ◆ 顧客基盤の維持拡大と海外展開による収益性向上
- ◆ 効率化/コスト削減の遂行
- ◆ 3拠点（日本・タイ・ベトナム）一体運営における安定した事業体制の確立

## 電子材料・化成品事業における目標経営指標

### 売上高（億円）



### 営業利益（億円）



# 新規事業の育成と事業化

## 基本方針

## 「まじめに感動素材」

お客さまが感じる困りごとや課題を自ら感じ捉えることで認識のギャップ (= 距離) をゼロにして、真の困りごとを解決できる「感動素材」を提供する

## 目標

STGAE2最終年度（2026年度）

**売上高 10億円**

持続的かつ成長性のある新たな分野にて、製品・サービスの創出と事業化

## 戦略

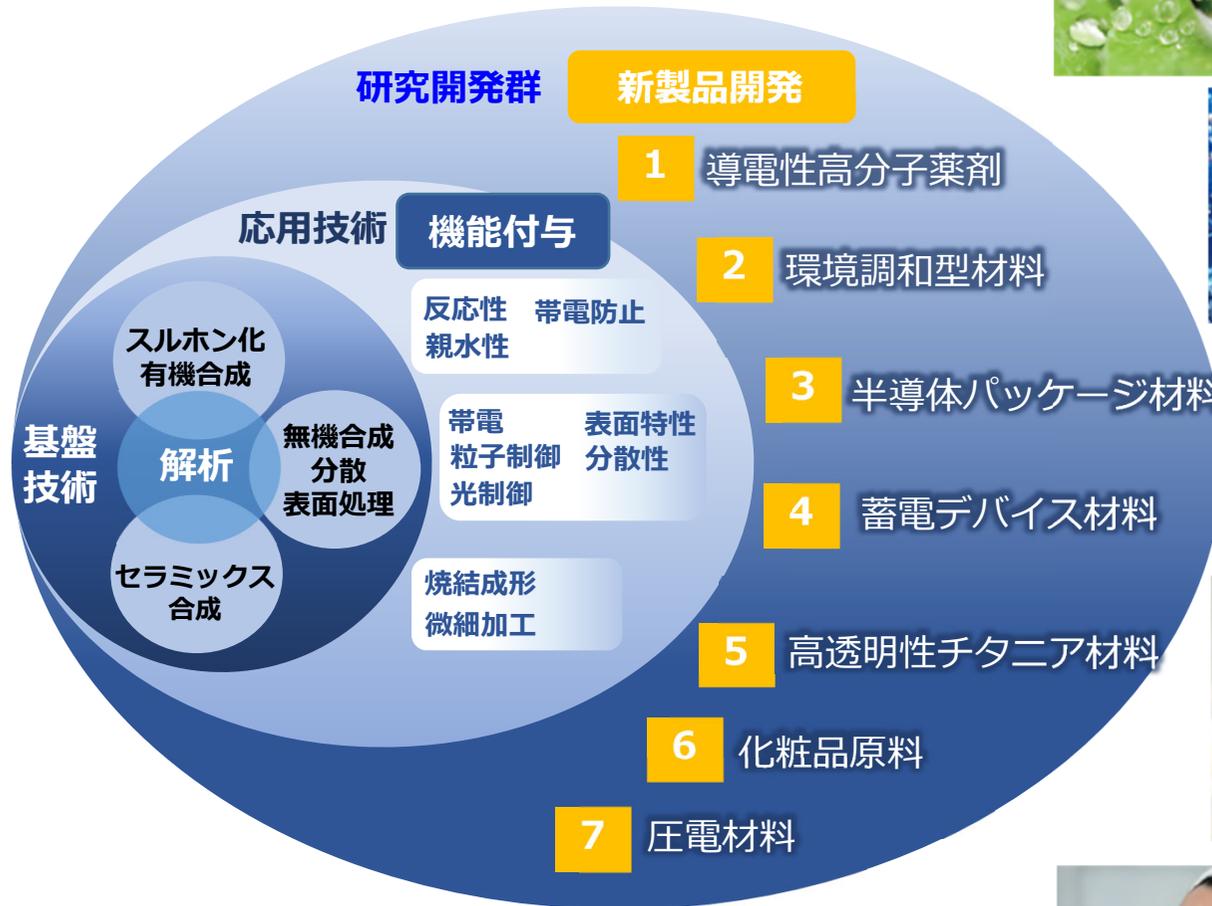
### 開発の加速とビジネス展開

- ・ヘルスケア分野へはこれまでに構築した技術やチャネルを活用した新たな製品とサービスの提供
- ・コアコンピタンスを活用したエレクトロニクスを中心とした新規分野への進出
- ・ビジネス化に向けた全社協力体制と積極的研究開発投資

### コアコンピタンスの活用・深化

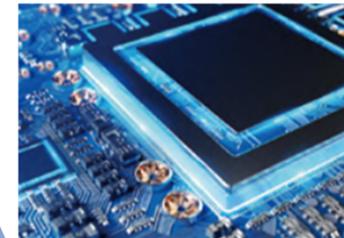
- ・DXを活用した材料開発力とマーケティング力の強化
- ・協業&共創によるオンリーワン技術の獲得
- ・コアコンピタンスの共有と育成

# 新規事業の育成と事業化



## 環境調和型材料

バイオマス原料活用やグリーンケミストリーの適応による低炭素化製品の創出



## 半導体パッケージ

無機化合物の形態制御と表面処理技術を融合し、半導体パッケージ分野に展開



## 次世代蓄電材料

無機合成技術により次世代の蓄電池の性能向上に不可欠な素材を提案



## 高透明無機材料

微細化技術と分散技術により、光学素子分野への開発品投入



## 化粧品原料

UV遮蔽剤の開発と新たな化粧品原料の提案

# 財務戦略

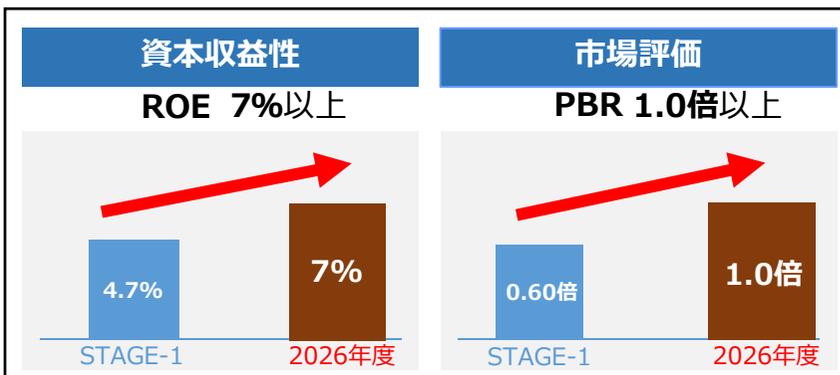
## 【基本方針】

### ROEの向上：資本効率経営

- ✓ 株主資本コストを上回るROEの向上
- ✓ 全社KPI運営とキャピタルアロケーション導入

### PBRの向上：IR活動の強化

- ✓ 株主還元充実と株主・投資家との対話活性化
- ✓ 広報・発信活動の強化

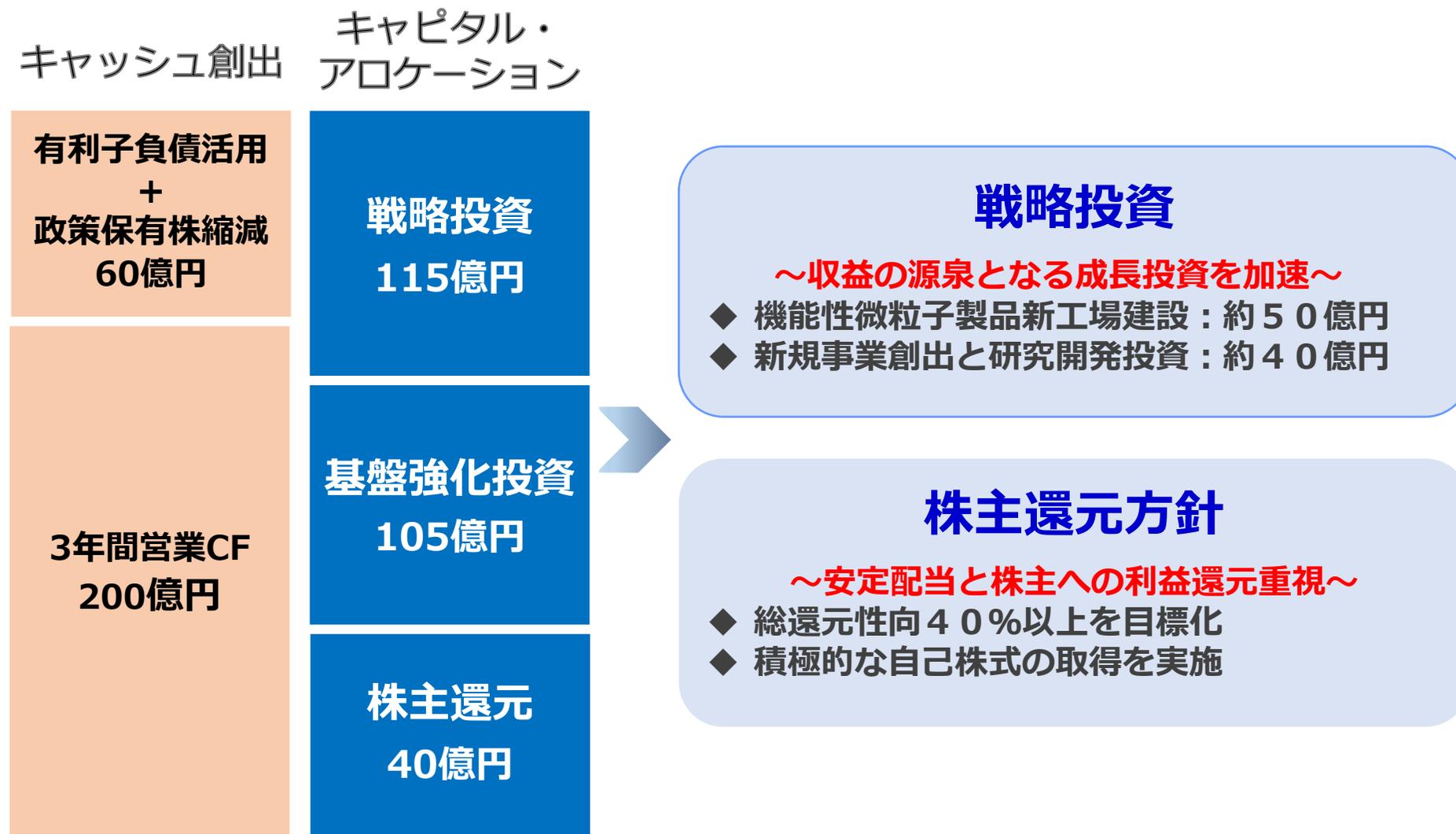


## 【経営目標】 ～持続的な成長と中長期的な企業価値向上に向けて～

	経営指標	STAGE1平均値	STAGE2 (2026年度)	MOVING-10 (2029年度)
資本効率	ROE (自己資本利益率)	4.7%	7%以上	12%以上
	PBR (株価純資産倍率)	0.60倍	1.0倍以上	1.0倍以上
株主還元	総還元性向	40.3%	40%以上	40%以上

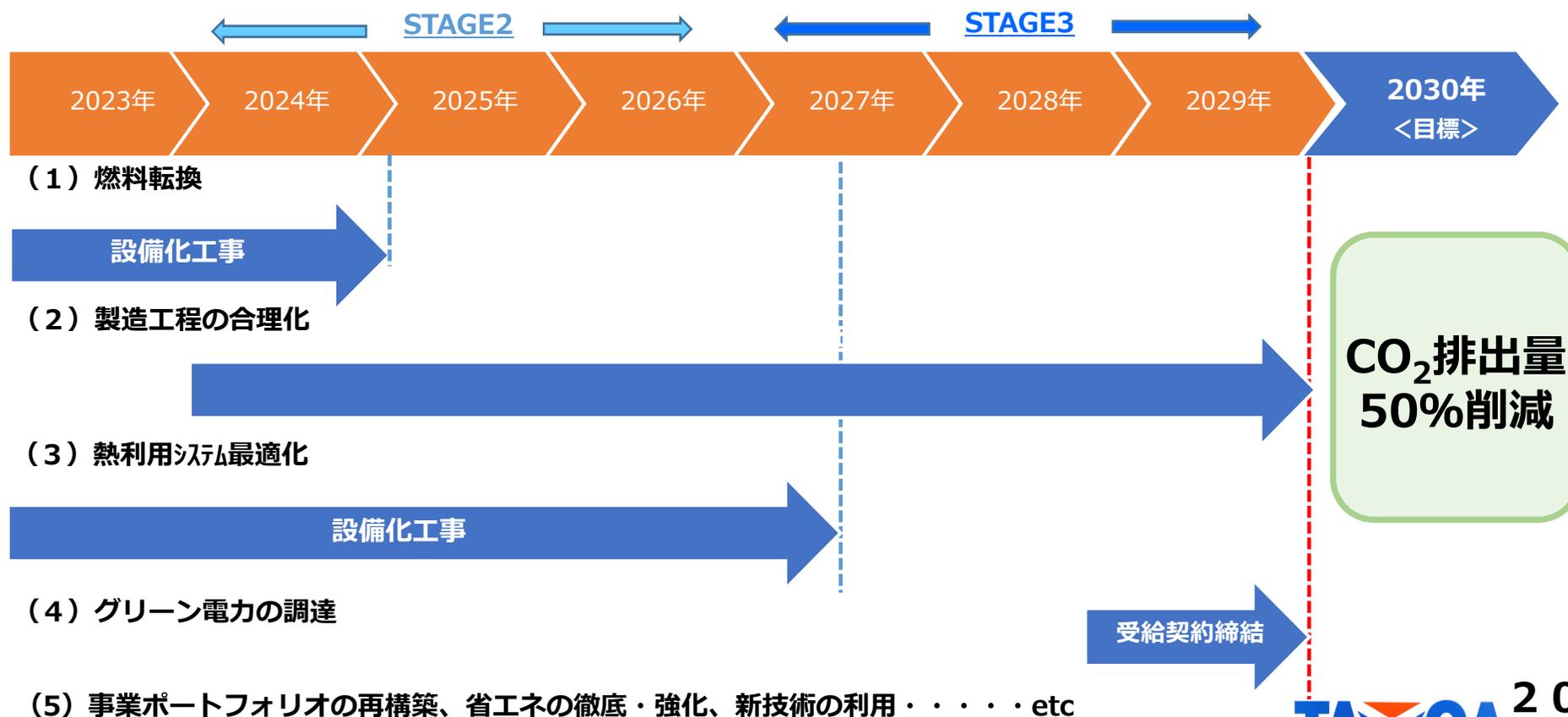
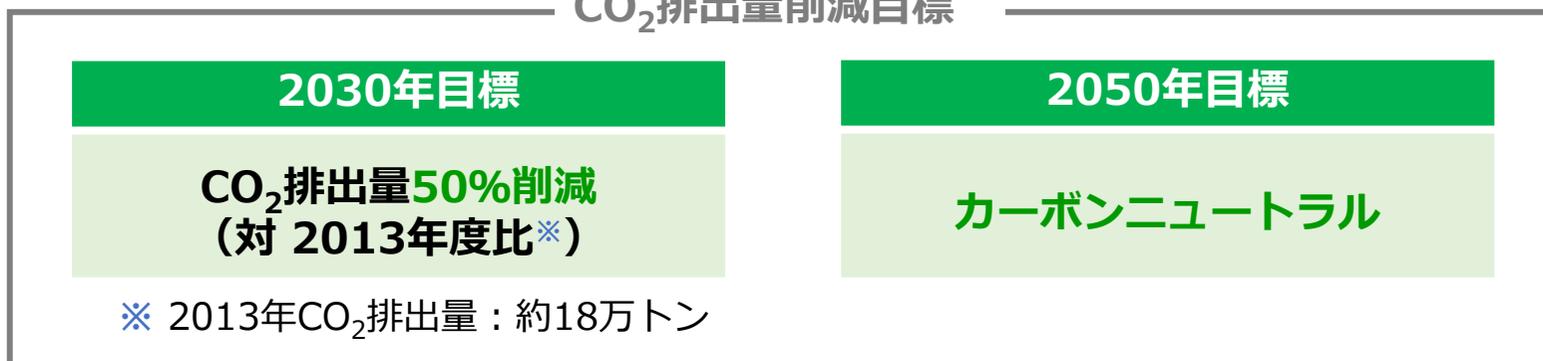
# 財務戦略：資本効率経営に向けた取り組み

～キャピタル・アロケーションの導入【STAGE2期間】～



# 非財務戦略：CO<sub>2</sub>削減

## CO<sub>2</sub>排出量削減目標



## 2. 2024年3月期 決算概要

# 決算概要

新型コロナウイルス感染症の政府方針の転換に伴い、社会経済活動の正常化が進み、景気は回復基調で推移しました。しかしながら、ウクライナや中東情勢の地政学的リスクに起因する原燃料価格の高止まりに加え、円安の進行や世界的な金融引き締めによる景気への影響など、依然として先行きは不透明な状況で推移しました。

国内を中心に化粧品向け機能性微粒子製品の販売が回復したものの、原燃料価格の高止まりによるコスト上昇等に加えて、導電性高分子薬剤等の販売が低調であったことにより、売上高および利益ともに減少する結果となりました。

## 2024年3月期 連結経営成績

	2023年3月期 決算実績	2024年3月期 決算実績	前期比 (%)
売上高 (百万円)	54,773	52,993	- 3.3
営業利益 (百万円)	4,224	2,325	- 45.0
経常利益 (百万円)	4,717	2,802	- 40.6
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (百万円)	2,986	1,866	- 37.5

# 事業別売上高・営業利益

(単位：百万円)	2023年3月期 決算実績		2024年3月期 決算実績		前期比 (%)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
機能性材料事業	27,130	2,221	<b>28,074</b>	<b>562</b>	+ 3.5	- 74.7
電子材料・化成品事業	26,286	1,686	<b>23,663</b>	<b>1,461</b>	- 10.0	- 13.4
小 計	53,417	3,908	<b>51,738</b>	<b>2,024</b>	- 3.1	- 48.2
その他	1,355	316	<b>1,255</b>	<b>300</b>	- 7.4	- 4.9
合 計	54,773	4,224	<b>52,993</b>	<b>2,325</b>	- 3.3	- 45.0

## 事業内容

### 【機能性材料事業】

主に酸化チタン、微粒子酸化チタン、微粒子酸化亜鉛、表面処理製品を製造、販売。

### 【電子材料・化成品事業】

主に圧電材料、導電性高分子薬剤、界面活性剤、硫酸、無公害防錆顔料を製造、販売。

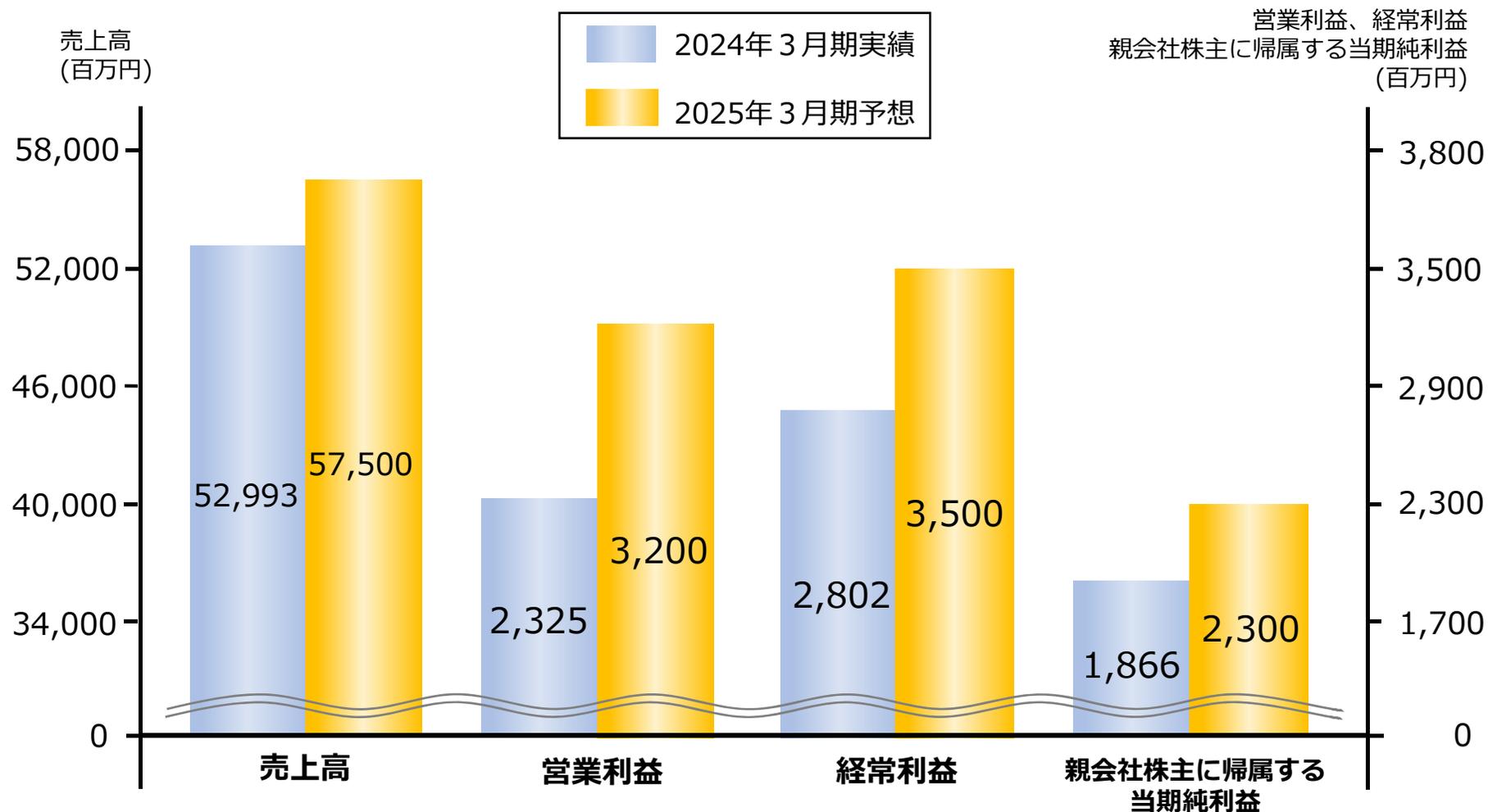
### 【その他】

倉庫業、エンジニアリングおよびセグメント間取引消去額を含んでいます。

## 3. 2025年3月期通期 業績予想

# 2025年3月期 業績予想

2025年3月期の連結業績予想につきましては、売上高は575億円（前期比8.5%増）、営業利益は32億円（前期比37.6%増）、経常利益は35億円（前期比24.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は23億円（前期比23.2%増）となります。



## 2025年3月期 業績予想(事業別売上高、営業利益、EBITDA)

### 【機能性材料事業】

機能性材料事業は増収、増益の計画であります。

### 【電子材料・化成品事業】

電子材料・化成品事業は増収、増益の計画であります。

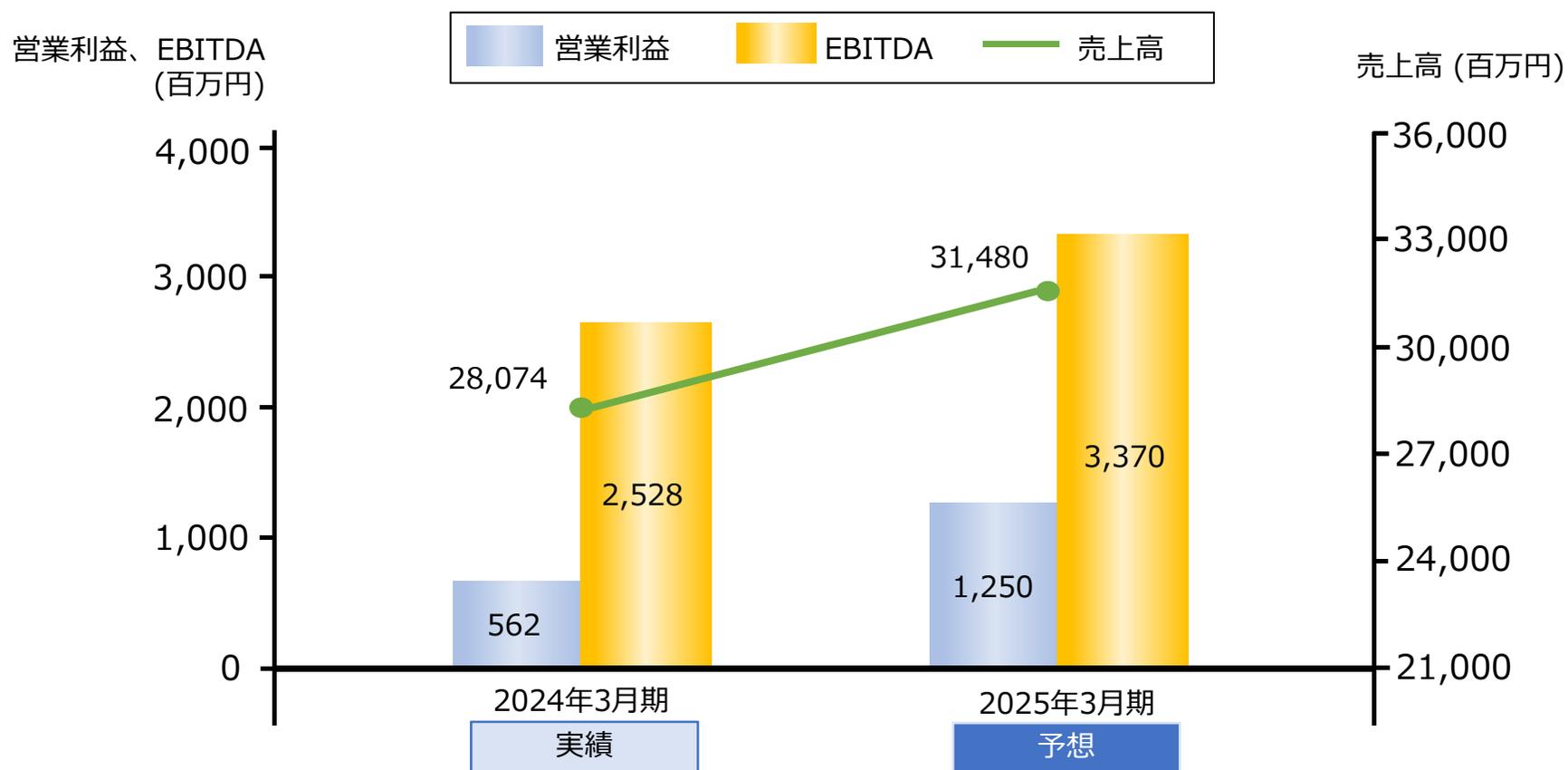
(単位：百万円)	2024年3月期実績			2025年3月期予想		
	売上高	営業利益	EBITDA	売上高	営業利益	EBITDA
機能性材料事業	28,074	562	2,528	<b>31,480</b>	<b>1,250</b>	<b>3,370</b>
電子材料・化成品事業	23,663	1,461	2,269	<b>24,860</b>	<b>1,710</b>	<b>2,770</b>
小計	51,738	2,024	5,099	<b>56,340</b>	<b>2,960</b>	<b>6,140</b>
その他	1,255	300	428	<b>1,160</b>	<b>240</b>	<b>310</b>
合計	52,993	2,325	5,527	<b>57,500</b>	<b>3,200</b>	<b>6,450</b>

# 機能性材料事業 業績計画

## 【事業環境の見通し】

汎用用途の酸化チタンに関しましては、需要回復の兆しはあるものの、原燃料価格の高止まりから、引き続き収益面で厳しい状況になると予想しております。

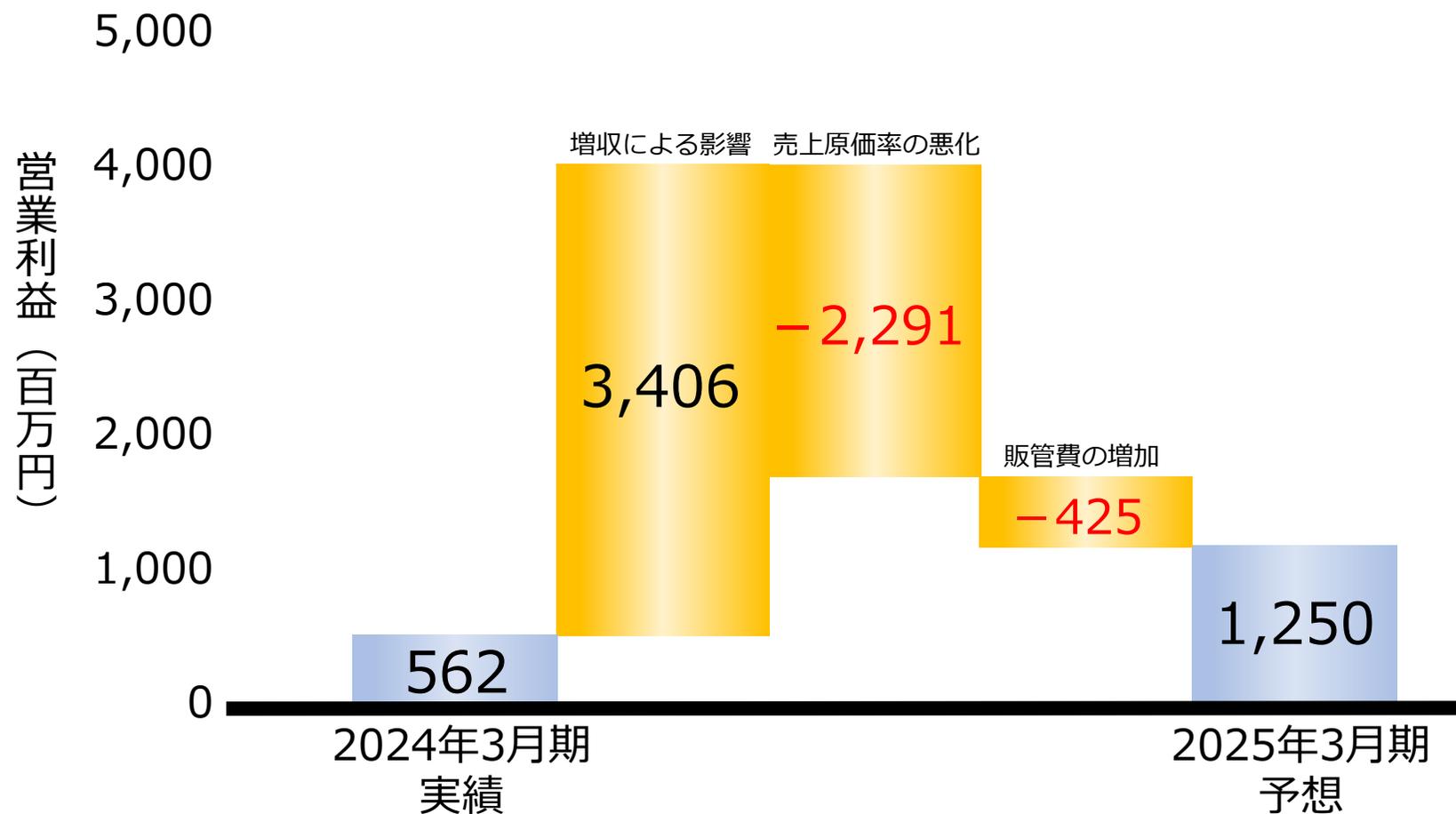
機能性用途の微粒子酸化チタン、微粒子酸化亜鉛および表面処理製品に関しましては、今後欧米だけでなく、アジア地域でも需要は高まっていくものと予想され、各国の市況を注視しつつ販売維持・拡大に努めます。



# 機能性材料事業 営業利益増減要因

## 【営業利益】

機能性材料の拡販を見込んでおり、利益の増加を見込んでおります。

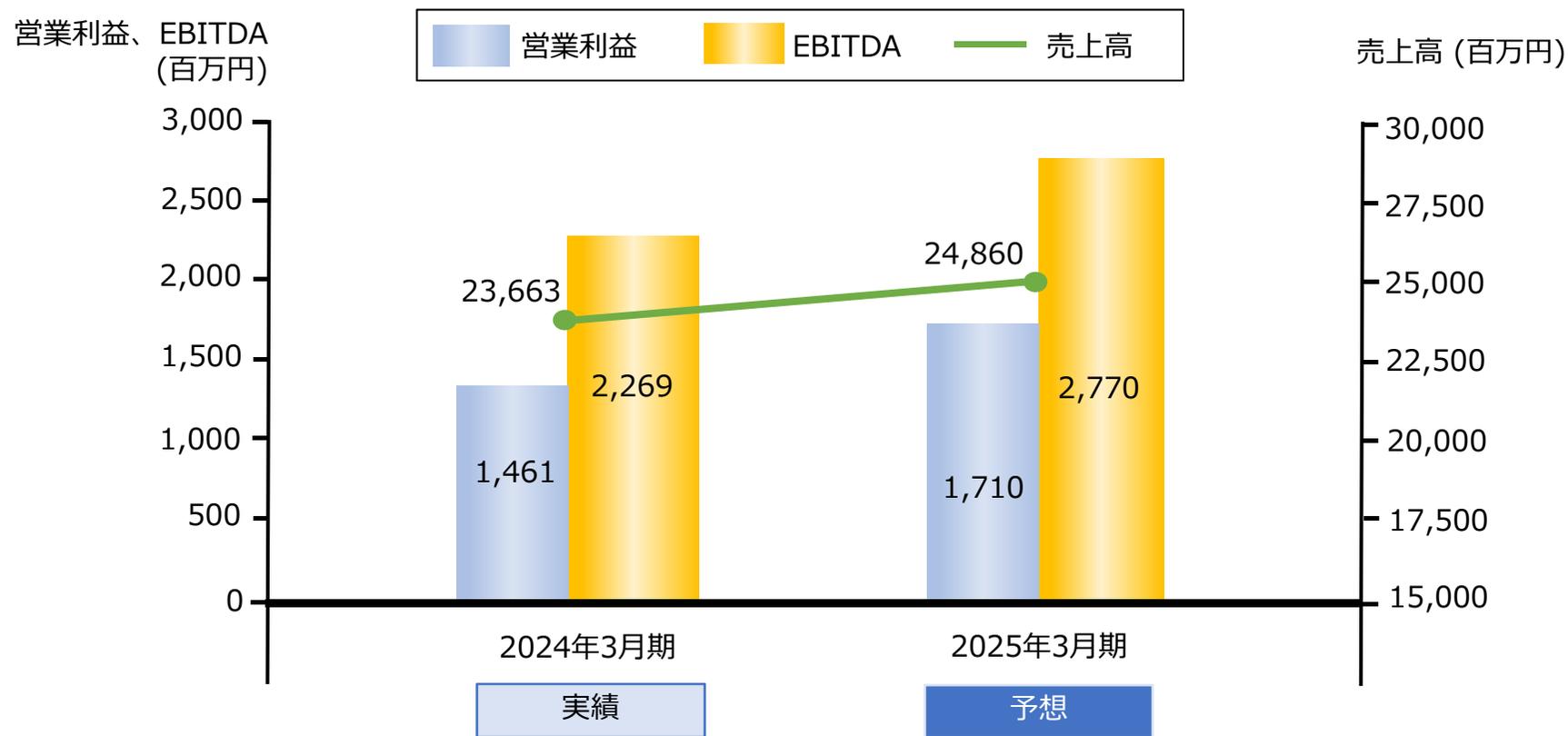


# 電子材料・化成品事業 業績計画

## 【事業環境の見通し】

電子材料に関しましては、国内外で需要は好調に推移するものと予想しており、特に圧電振動子については、日・米両製造拠点から世界各国への安定的かつ効率的な製品供給により、更なる販売拡大に努めてまいります。

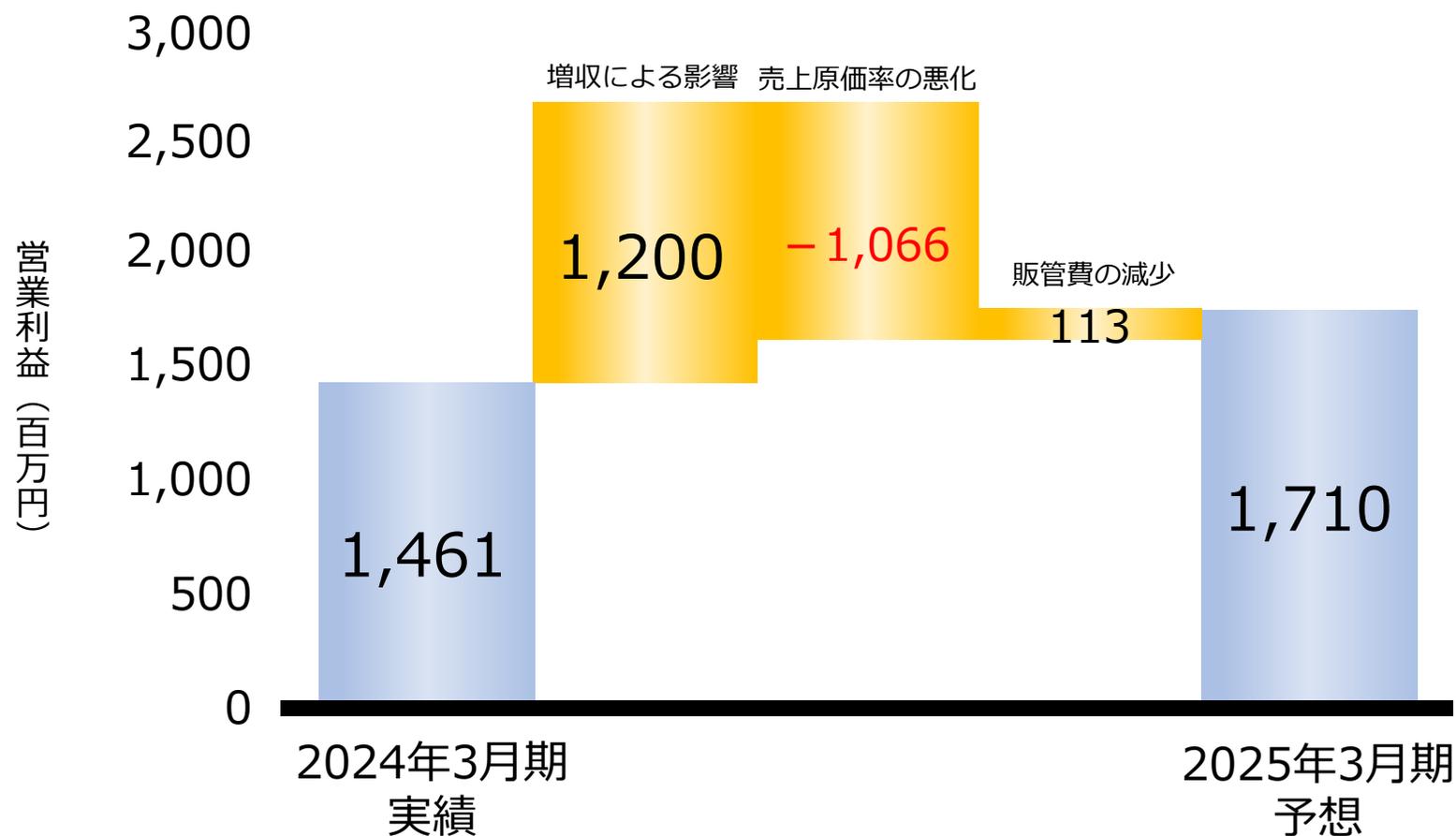
また、化成品事業に関しましては、洗剤など日用品向けの需要は堅調に推移すると見ており、タイ・ベトナムの関係会社とともに、世界各地での需要の対応に力を注ぎます。



# 電子材料・化成品事業 営業利益増減要因

## 【営業利益】

電子材料の販売回復による増収により、利益は増加する見通しであります。



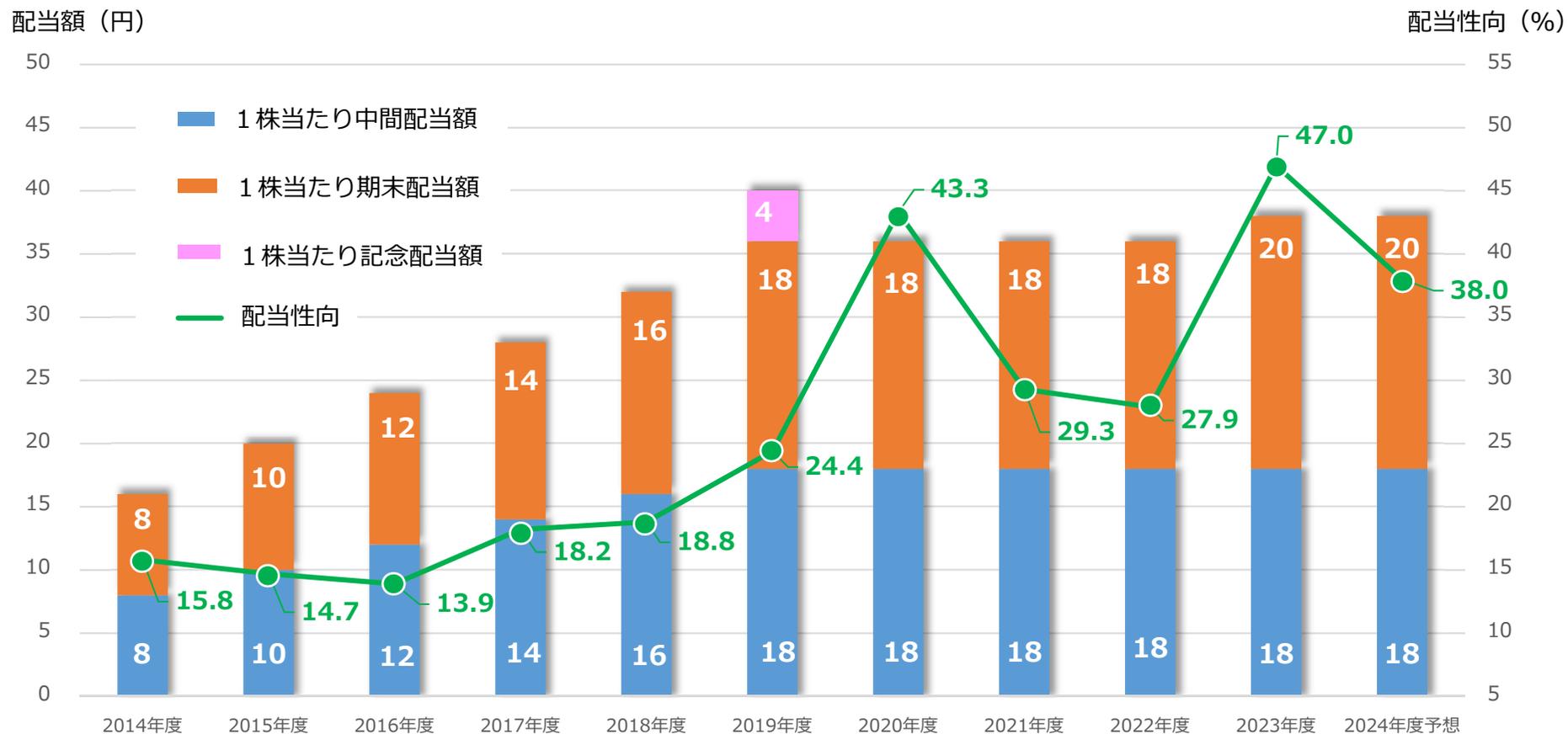
# 経営指標

## ● 経営指標

	2023年3月期 実績	2024年3月期 実績	2025年3月期 予想
1株当たり当期純利益（円）	128.86	80.60	<b>99.93</b>
自己資本利益率（ROE）	5.7	3.4	<b>4.2</b>
総資本経常利益率（ROA）	6.4	3.5	<b>4.4</b>
売上高営業利益率	7.7	4.4	<b>5.6</b>
自己資本比率	70.3	69.3	<b>67.1</b>

## 4. 株主還元

# 株主還元（配当金）



株 価	1, 5 8 4 円	(2024年5月29日終値)
配当利回り	2. 3 9 %	* 2024年度 配当予想
P E R	1 5. 8 5 倍	* 2024年度 業績予想
P B R	0. 6 4 倍	* 2023年度 実績

# 株主還元（PBR向上）

## 【PBR向上に向けた取り組み】～テイカブランドの確立

### 株主・投資家との対話活性化

- ◆ 個人投資家向け会社説明会実施 年2回以上
- ◆ 機関投資家向け決算説明会実施 年2回予定
- ◆ 継続的な機関投資家との面談実施

### 広報・発信活動の強化

- ◆ 化粧品原料、圧電材料等製品コンテンツ拡充
- ◆ 新規開発品情報開示拡充

- 経営基盤の構築と成長投資・株主還元のバランスをとり、収益力の強化を図るとともに、積極的なIR活動を通じてステークホルダーとの共創とテイカブランドの確立を目指す



**PBR 1.0倍以上の実現**

## 5. 付属資料

# 会社概要

- 社名 テイカ株式会社 TAYCA CORPORATION
- 創立年月日 1919年（大正8年）12月22日
- 資本金 98億円
- 年商 529億円（連結 2024年3月期）
- 従業員数 815名（連結 2024年3月31日現在）
- 上場証券取引所 東京証券取引所 プライム市場（証券コード：4027）
- 事業内容 各種化学工業薬品の製造、販売  
酸化チタン、微粒子酸化チタン、微粒子酸化亜鉛、  
表面処理製品、圧電材料、導電性高分子薬剤、  
界面活性剤、硫酸、無公害防錆顔料 等

# 事業紹介

## テイカの事業内容

BUSINESS

### 家庭内

#### シャンプー・洗剤

界面活性剤

#### パウダー化粧品

赤外線遮蔽酸化チタン  
皮脂吸着パウダー  
セリサイト

#### 外壁・屋根

酸化チタン  
赤外線遮蔽酸化チタン  
光触媒用酸化チタン

### 暮らし

#### 自動車の塗料

酸化チタン  
無公害防錆顔料

#### 舗装道路

赤外線遮蔽  
酸化チタン

#### 日焼け止め化粧品

微粒子酸化チタン  
微粒子酸化亜鉛  
表面処理製品

### オフィス内

#### カラーコピー

カラーコピーのトナーの  
表面処理製品

#### パソコン

パソコンの駆動に  
欠かせないコンデンサの  
導電性高分子薬剤

いつも  
テイカが  
身近に  
います

テイカ製品は、  
どこかで必ず  
役立っています。

テイカの製品は、ご家庭の日用品  
から医療機器まで、さまざまな  
分野で関わっています。

### HOSPITAL

#### 医療機器

医療用超音波診断機の  
プローブの  
圧電材料

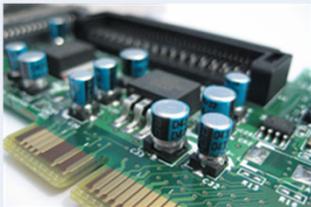
#### 畑・花壇の肥料

硫酸

# 事業紹介（機能性材料事業）

	製品名	用途	概要
機能性材料事業	酸化チタン		酸化チタンは優れた白色顔料として、塗料、インキ、プラスチック、化学繊維、製紙など白いものはもちろん、色のついたもののほとんどに使用されています。 また、白色度、着色力、安全性、化学的安定性など優れた性質をもち、社会のあらゆる分野で役立っています。
	微粒子酸化チタン		微粒子酸化チタンは、一般の白色顔料用酸化チタンに比べてはるかに小さい10~50nmの粒子径を有する超微粒子であるため、例えば、可視光線部における光透過性と紫外部での光遮蔽性が大きい等の特徴ある性質を備えており、しみの原因となる紫外線UVBの遮蔽性に優れています。
	微粒子酸化亜鉛		微粒子酸化亜鉛は、微粒子酸化チタン同様、優れた紫外線遮蔽能力を持つ機能性粉体です。微粒子酸化チタンと比較して、可視部における透明性が高く、しわ、たるみの原因となる紫外線UVAの遮蔽性に優れています。
	表面処理製品		微粒子酸化チタンや微粒子酸化亜鉛等の無機粉体が持つ優れた特徴を最終製品で発揮できるよう、各種有機化合物で表面処理した粉体製品です。表面処理を行うことにより、粉体表面が親水性や親油性に改質され、耐光性や分散性などの特長を付与できます。化粧品原料、プリンターのトナー用外添剤をはじめ幅広い分野で使用されています。
	光触媒用酸化チタン		光触媒用酸化チタンは、紫外線や水・酸素などのクリーンなエネルギーによって発現する酸化チタンの酸化力を利用し、有害な有機物を分解・除去します。これら光触媒効果を活用した、汚れ防止効果を付与した外壁や脱臭効果を付与したインテリア等が実用化されています。

# 事業紹介（電子材料・化成品事業）

	製品名	用途	概要
電子材料・化成品事業	圧電材料		圧電材料は、電圧を加えることで、伸縮を繰り返し振動する現象を利用し超音波を発生させることができます。エコー検査に使われる医療用超音波診断機はこの機能を利用しています。発生した超音波から画像を映し出すことで、エックス線などは使わず、体の中を安全に調べることができますので妊婦検診や心臓・腹部等の診断で多く使われています。
	導電性高分子薬剤		白川英樹博士のノーベル賞受賞で知名度が広まった導電性高分子。添加物を加える「ドーピング」で、プラスチックのような電気が流れない絶縁体を電気が流れる「導電体」に変えます。当社はいち早くこの性質に着目し、当社固有技術と融合させ、様々な要求特性に対応した導電性高分子薬剤を開発。パソコンの駆動に欠かせないコンデンサに使用されています。
	界面活性剤		界面活性剤は、水と油の両方になじみやすい性質をもち、洗浄、乳化、分散、可溶化などの働きを利用して、洗剤、シャンプーなど生活用品から工業分野にまで広く使用されています。
	無公害防錆顔料		当社は、リン酸塩の研究を長年続けた結果、世界に先駆けてリン酸塩Kシリーズ、無公害型防錆顔料の量産技術を確立し工業化したしました。地球環境にやさしい技術として、防錆剤、硬化剤、吸着剤など多用途に利用され高い評価を得ています。
	硫酸		硫酸は医薬品、化学肥料といった化学品産業から金属、鉄鋼といった重工業まであらゆる分野での基礎原料となっています。当社では、創立当初より硫酸の製造を開始。この硫酸を基礎原料に酸化チタン、界面活性剤の製造に着手してきました。